

● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金基準日	3月31日
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 公告掲載URL：https://www.kyokuyo.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告を行うことができない場合は、東京都 内において発行される日本経済新聞に掲載す る方法により行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

未払い配当金のお支払いや株式事務に関する
一般的なお問い合わせは、
下記の当社株主名簿管理人にお申し出ください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 **0120-232-711** (通話料無料)

ホームページ



トップページ



個人投資家様向け会社紹介動画



株式会社 極 洋

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号



BUSINESS REPORT

第 **103** 期 報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに第103期(2026年3月期)
報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
井上 誠



企業理念

人間尊重を経営の基本に、
健康で心豊かな生活と
食文化に貢献し
社会とともに成長することを
目指します。

当期は3か年の中期経営計画『Gear Up Kyokuyo 2027』の2年目として、海外の生産・販売拠点の拡大による事業基盤の拡充や、働きやすい職場環境の整備によるステークホルダーとのパートナーシップ強化に取り組んでまいりました。

しかしながら、海外事業の収益化の遅れや世界的な水産物市況の高騰による消費減退の影響を受け、利益が伸び悩みました。収益力の強化や環境変化への対応という面で、課題を残す結果となりました。

現中期経営計画は今年、最終年度を迎えます。各施策の実行精度を一段と高め、収益力の改善に取り組んでまいります。「魚を中心に、食で人と暮らしと地球によりそう サステナブルな世界へ」という企業パーパスのもと、「強いキョクヨー」の実現に向けて、当社グループをさらに強化・拡大してまいります。

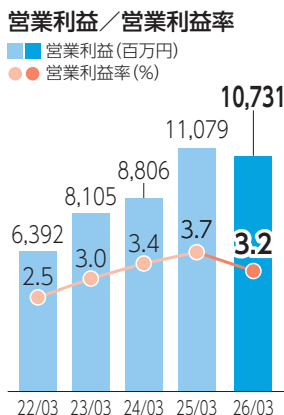
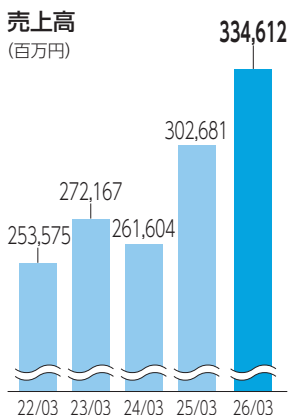
株主の皆様におかれましては、今後の成果をもってご期待にお応えできるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



● 主な連結経営指標

ポイント

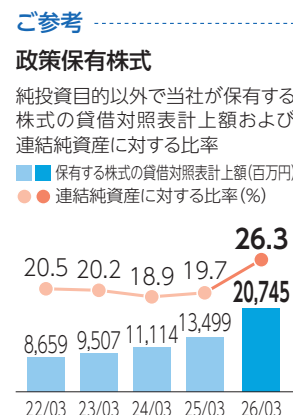
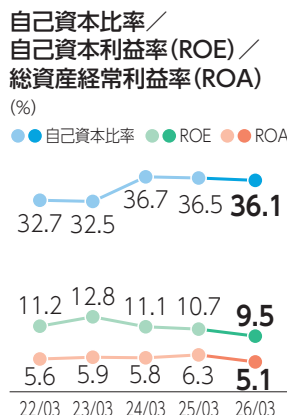
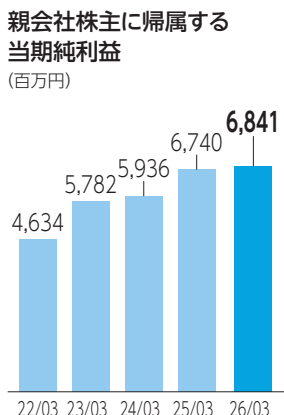
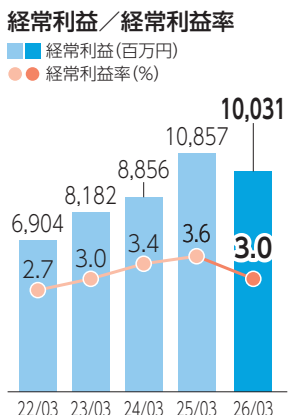
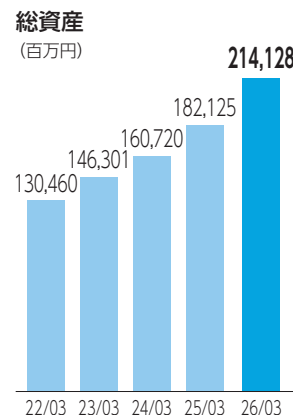
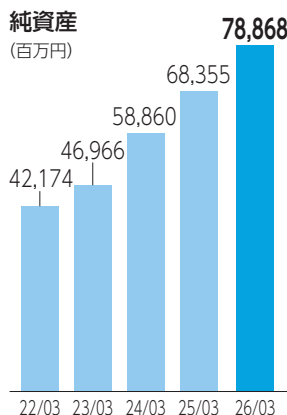
- 売上・当期純利益とも**過去最高値**。
- 売上は**水産事業**、利益は**生鮮事業が牽引**。



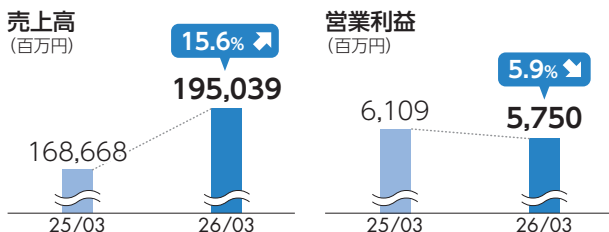
● 主な連結財務指標

ポイント

- **純資産、総資産は拡大も、収益性が下がりROA、ROEは低下**。

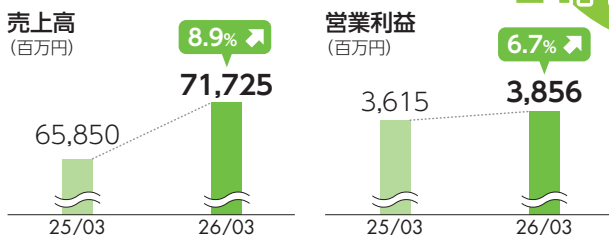


水産事業セグメント



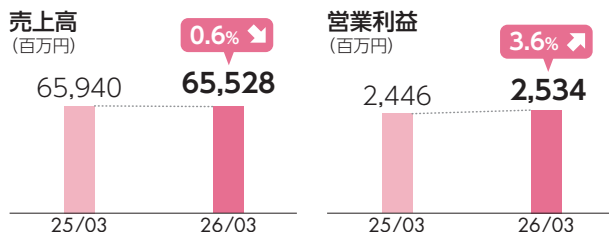
1937年に漁労会社としてスタートして以来、築き上げてきた国内外の調達ネットワークを活かし、世界中から質の高い水産物を安定的に調達するとともに、切身やカニ、エビの剥き身などの加工品を提供しています。注力している海外事業については、日本産水産物の輸出版売のほか、自社グループの海外生産拠点の整備を進めており、水産物や加工品のグローバル販売を強化しています。

生鮮事業セグメント



寿司種をはじめとする生食事業と、カツオの漁獲、マグロの買付から加工・販売までを手掛ける鯷鮪事業、養殖事業で構成されています。寿司種は日本向けだけでなく、回転寿司チェーンの海外店舗にも拡販を進めています。カツオについては、当社グループ所有船による独自の調達力があります。また、マグロについては、海外から買い付けるほか、当社グループで培ってきた独自の技術を活かして四国で養殖したものをオリジナルブランド「本鮪の極」として出荷しています。他にもマダイやブリヒラ®を養殖しており、養殖魚種の拡充を図り、資源アクセスを強化しています。

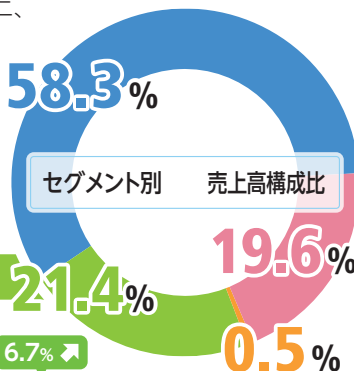
食品事業セグメント



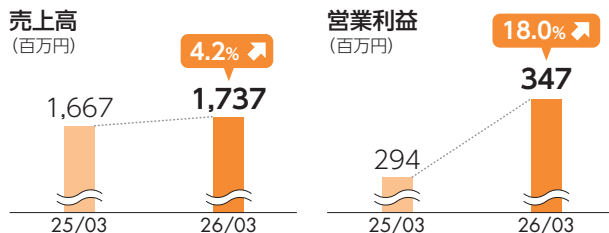
業務用冷凍食品、市販用の冷凍・チルド食品、缶詰・珍味などの常温食品で構成されています。

業務用冷凍食品は、煮魚・焼き魚、水産フライやカニ風味かまぼこ、ほか、骨なし切身をはじめとする「だんどり上手」シリーズなどを、外食ルートや量販店の惣菜売場、医療・介護施設などに販売しています。

市販用冷凍食品は、煮魚・焼き魚をはじめ、食卓・お弁当の惣菜品としてご利用いただける商品を提供しています。缶詰については、サバなどの魚介缶詰をはじめ、畜肉・農産缶詰を取り揃えています。また、さきいかなどの珍味類のほか、DHAなどの健康食品も販売しています。



物流サービスセグメント



東京の大井および城南島、福岡の3事業所における冷蔵倉庫事業を中心に、倉庫からの配送手配などのロジスティクス・サービスを提供しています。

Gear Up Kyokuyo

2027 (2024~2026年度)

パーパス

魚を中心に、食で人と暮らしと
地球によりそう サステナブルな世界へ

企業パーパスのもと、「事業基盤」の拡充、「財務基盤」と「ステークホルダーとのパートナーシップ」の強化を進めながら、ミッション達成に向けて、以下の3つの視座で施策を遂行し、強いキョクヨーを追求していきます。

事業基盤(生産拠点、販売拠点等)の拡充

財務基盤(安定的な利益の獲得、多様な資金調達等)の強化

ステークホルダー(お客様、お取引先様)とのパートナーシップの強化

3つの視座

01 | 人財・組織

従業員一人ひとりが活躍できる職場環境を創造するため、キョクヨーグループ各社と個々とのエンゲージメントを重視し、成長の原動力となる人財の育成を通して、社会の変化に対応できる組織を整える。

02 | 4つの事業

変化に柔軟に適応できる人財に富んだ組織のもとで、水産・生鮮・食品・海外の4つの事業を柱に、グループを強化・拡大。

03 | グローバル化

食の多様性への対応はビジネスチャンスにつながることから、4つの事業展開で世界各地の食のニーズを捉えた商品の現地生産・販売体制を整え、水産物需要が高まる海外で事業ウィングを拡げる。

01
人財・組織
変化への対応
エンゲージメント

02
4つの事業
水産事業 生鮮事業
食品事業 海外事業

03
グローバル化
拠点
マーケット
商品

強化
拡大

キョクヨーグループのミッション

- 魚を中心に健康で安心安全な食を提供する
- グローバルなサプライチェーンの中で責任ある調達を実践する
- 社会や地球環境と調和したサステナブルな食を実現する
- 一人ひとりが活躍できる明るい会社をつくる

2027年3月期の通期業績については、以下のような見通しを立てております。



目的	2027年3月期 通期業績予想	
事業規模の拡大	売上高	3,650億円
高収益体制の強化	営業利益	120億円
	経常利益	110億円

『Gear Up Kyokuyo 2027』

2年目(2025年度)の振り返り

| 視座 | グローバル化

事業基盤の拡充 海外事業の拡大

25年9月 水産加工品の北欧販売網を有するデンマーク企業を買収

海外事業のさらなる拡大に向け、北欧に生産・販売拠点があつた水産加工・販売会社「Engelsviken Canning Denmark A/S」および「Engelsviken Norway A/S」を連結子会社化しました。オランダの子会社を中心に拡張してきた西欧、南欧向け販売に加えて、北歐向けの販売を拡充させてまいります。



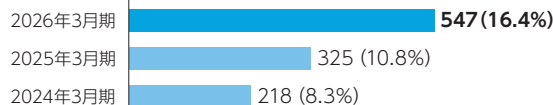
Engelsviken Canning Denmark A/S



北歐スーパーで販売されているECD社のエビ製品と缶詰

海外売上高 (海外売上高比率)

単位: 億円



| 視座 | 人財・組織

ステークホルダーとのパートナーシップの強化 従業員が働きやすい職場環境

25年10月 就業時間中は禁煙に

社員の健康を守り、さらなる働きやすい職場環境づくりによる従業員エンゲージメント向上のため、休憩時間を除く就業時間中は禁煙としました。

社員一人ひとりが心身ともに健康であり、一生懸命仕事に打ち込める環境をつくるため、引き続き健康経営に注力してまいります。

26年3月 賃上げおよび初任給の引き上げ

2026年度から、組合員の平均月額給与を14,000円賃上げします。これにより、初任給は300,000円から315,500円になりました。

従業員のモチベーション向上と生活の安定化を図ることで、今後も働きやすい環境づくりを進めてまいります。



| 視座 | 4つの事業

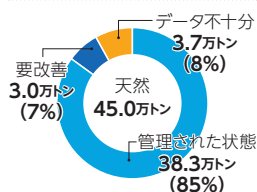
25年4月 ねり節専用工場が竣工

～冷凍カツオの端材を有効活用するSDGsへの取り組み～

カツオタタキを製造する子会社の指宿食品(株) (鹿児島県)は、製造工程で冷凍カツオを切削する際に発生する端材を業務用のだし粉などとして活用されるねり節に加工するねり節加工場を設立しました。

25年6月 第2回水産物資源調査を実施

天然水産物の資源状態



2023年度の調達水産物のうち、84%が天然、16%が養殖水産物でした。天然水産物の資源状態は85%が「管理された状態」、7%が「要改善」、8%が「データ不十分」でした。



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

2025年6月25日に東京証券取引所において「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、開示しました。



現状分析 ～PBR1.0倍割れの要因～

1. ROEは10%超が続いているものの、PERは7倍前後で推移
2. PERの低位推移は、業績の伸長による「1株当たり当期純利益」の上昇や増益および2024年に実施した増資による純資産の増加に株価上昇が伴っていないと考えている
3. ROEは10%超も、改善の余地あり

PER改善、ROE向上の方針

PER改善方針

中期経営計画『Gear Up Kyokuyo 2027』（2024年度～2026年度）のもと、事業規模の拡大、高収益体制の強化に努めることで純利益を積み上げながらIR活動強化によるビジネスモデルおよび成長性の理解促進、当社株式への関心を高め、株価向上を図っていく。

施策 個人投資家向けIRイベントに出展

2026年1月8日～27日にオンラインで開催された「野村IR資産運用フェア2026」に出展しました。当社を初めて知る投資家の皆様にも当社の事業内容、成長戦略をご理解いただけるよう、分かりやすい動画で会社を紹介しました。



ROE向上方針

高収益体制の強化による利益向上を図ることで、財務レバレッジを引き下げながら、売上高純利益率を改善させていく。

	売上高純利益率	総資産回転率	財務レバレッジ
ROE	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	$\times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$	$\times \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$
FY2025実績	2.0%	1.7回	2.8倍
現状分析	低	高	高
方針	高	高	低

※自己資本を効率的に運用できているが、利益の積み上げによって自己資本を増加させることで、財務レバレッジの引き下げ余地あり

TOPICS

トピックス



「魚を中心に、食で人と暮らしと地球によりそうサステナブルな世界へ」という企業パーパスを形にするため、以下のような取り組みを実践しています。

魚食量増加運動「水産会社なら魚を食べ!」実施

「魚離れ」と言われて久しい中、「極洋の社員こそ魚を食べているのか」、「極洋から魚食量増加の輪を広げていこう」との観点から、社員向けの魚食量増加運動「水産会社なら魚を食べ!」を2025年にスタートさせました。その一環として、社員に魚食弁当を年間4回配布。

土用の丑の日にはうなぎ弁当を、節日には恵方巻を配布し、季節の行事に合わせた弁当で魚食推進を啓蒙しています。



うなぎの蒲焼き弁当
(一例)



恵方巻
(一例)



喫食の様子

「海洋プラスチック汚染への対応」として、 社員がボランティア清掃活動

魚「水産4社合同海岸クリーンアップ 2025」を開催

「海洋プラスチック汚染」の問題解決に向けた取り組みの加速・拡大・周知を目的に水産会社4社（㈱極洋、マルハニチロ㈱（現 Umios㈱）、㈱ニッスイ、東洋冷蔵㈱）合同で、千葉県のコトノハ海岸沿いのごみを回収しました。

各社の社員やその家族がボランティアとして参加し、参加者数は4社合計182名、回収したごみは17.5kgでした。



● 株主還元について

配当金 **150** 円

当社は企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を図るとともに、安定配当を継続しつつも、中長期的な利益成長による配当水準の向上を目指します。2026年3月期の配当は、1株150円といたしたく、第103回定時株主総会にお諮りいたします。

● 配当の状況

26期連続で配当維持または増配し、安定的な配当を実現しています。

配当の推移

単位：円

※利益配当金の株主確定日は3月31日です。中間配当はありません。



※2016年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を行っており、併合前の配当金につきましては、併合後の1株当たり配当金水準と一致させるため、実際の配当金額を10倍にして表示しております。

※2007年3月期（株式併合前）の配当金には、創立70周年記念配当1円00銭が含まれています。

● 株主優待の内容

対象株主

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上所有の株主様

優待の内容

- 1単元(100株)以上3単元(300株)未満所有の株主様
→ **2,500円相当の当社製品**を贈呈
- 3単元(300株)以上所有の株主様
→ **6,000円相当の当社製品**を贈呈

贈呈時期

毎年7月予定

当社製品を贈呈



2,500円相当
製品詰め合わせ

- さば水煮
- 紅ずわいがに赤身脚肉
- 銀鮭水煮



6,000円相当
製品詰め合わせ

- さば水煮×2缶
- 紅ずわいがに赤身脚肉×2缶
- 銀鮭水煮×2缶

